

主な質問応答・意見交換

< 議会改革 >

なぜ議会改革なのか

町 民 議会改革に取り組むのは、今までの議会に悪いところがあったからか。

議 会 悪いところがあったからではなく、さらに充実させるためです。

議員定数の考えは

町 民 議会改革として、山北町は開成町と比べて何を行っているのか。
また、議会費の運用と定数についてはどうか。傍聴は、できるのか。

議 会 議会基本条例の策定に向けて取り組んでいます。
山北町の議会費は、政務活動費の支給がないので、他の町と比較して低い状況です。
議員定数は、議会として現状の14人が妥当ではないかという方向性を去年の報告会で報告しました。議会での傍聴はできます。

目安となる目標設定を

町 民 今回の取り組みは、議会のやる気を感じる。議会の見える化が伝わってくるが、目標を設定し、どこまで達成できたか、わかる工夫を。

議 会 議会改革の一步として、必要なものは、取り入れ恒常的に進めていきます。プランから実施内容までを常に見直し、後退しないよう努力し、向上させていきます。

議員の質の向上とは

町 民 議員個人の質の向上のための取り組みは。

議 会 いろいろな研修会に参加しています。上郡議長会が開催する研修会へも参加し、学習機会を共有することで質を高めています。
このような報告会を毎年続け、内容を充実させることが、議員の質の向上につながります。

議員定数削減は慎重に

町 民 議員定数削減の議員提案をすべきではない。県で3番目に広い地域、隅々まで目配り気配りをし、地域や子どもの安全、町の発展に寄与すべきでは。

議 会 前回の選挙後、議員定数について検討してきました。議会はどうあるべきかという観点から議論を重ね、現状維持の方向性を出しています。

< 大野山・ユース・ビジターセンター >

大野山で星空観察

町 民 大野山は昔、星山と言われたそうです。大野山で星を見ることを観光につなげてはどうか。

議 会 議会としては、大野山で星の観察ができるよう検討し、観光振興に繋げていきます。

まきば館の今後

町 民 大野山乳牛育成牧場まき場館の駐車場拡大と言われたが、利用者数は。また維持の必要性があるのか。

議 会 まき場館の利用者数は、年間 47,000～50,000 人位ですので、一般客の駐車場の整備を検討した中で、町が運営することは好ましくないという方向です。

大事な観光財産

町 民 大野山は、町の大事な観光財産です。富士山があれだけ見える場所は、神奈川県内にはないので、町と議会は、これからの取り組みを考えてほしい。

議 会 大野山は、山北の観光名所です。地域の声を聴き、議会として積極的に町や県に伝えます。

県財産への取り組み

町 民 県財産などの取り組みを、議会はさらに研究していくのか。

議 会 都夫良野公園などは、さらに研究していきます。

町 民 ユーシンロッジとビジターセンターはとてもよい施設なので、廃止するのは残念ですが、県への働きかけは。

議 会 ユーシンロッジは、民間が運営する施設として、置いておくべきであり、町も同じ方向で動いています。

新たな活用方法

町 民 ビジターセンター、森林館、薬草園、ふれあいランドの4施設は、地域としては捨てがたい施設です。町がすべて背負うのは、財政的には難しいと聞くので、年間を通して、イベント的な方法で活用できないか。

議 会 県知事が提唱する「未病を治す」という事業に活用していくよう町に提言します。

< 教育 >

放課後の過ごし方

町 民 「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の利用者数と指導員数は。また、カリキュラムの充実とは何か。

議 会 去年の時点で、児童クラブは46名（1～4年生）、子ども教室は120名（1～6年生）です。児童クラブの指導員は、通常4～5名です。

カリキュラムの充実とは、高学年が参加しやすい学習計画や体験活動のプログラムの充実で、子どもたちの学力を上げるためにNPOを使って土曜学習を開催するなどです。

幼稚園・保育園の運営

町 民 山北町は、幼稚園と保育園を一緒にしないのか。

議 会 町は、わかば保育園と山北幼稚園を一本化して、こども園化をする計画です。こども園は、保育園型と幼稚園型があるが、国から明確な指導がないので、常任委員会としては、幼稚園、保育園連携型の運営を検討していきます。

町 民 岸幼稚園を作ると、岸と向原の連携になる。向原保育園を改造して、こども園にしたら良い。一園になれば職員も減る、議員として27年度の改革も併せどのように考えるか。

議 会 平成24年度にも、同じテーマで検討してきましたが、役場の担当は福祉課と学校教育課の2課になっています。
常任委員会としては、子ども課を新設し、1課で全体を見たほうが良いので、課の設置と併せて、幼保一体型の運営方法を町に提言します。

地域と子どもの関係

町 民 子ども会がほとんどなくなり、山子連も解散し、地域と子どもたちの関係が閉ざされているので、常任委員会で、地域の子どもの教育をどうしたらよいか話し合っしてほしい。

議 会 地域の力を子ども子育てにということで研究しています。地域と子どもたちの関係が、閉ざされようとしていることにも視点を置き検討します。

< 議会報告会 >

密着した意見交換

町 民 町が具体的に取り組んでいる事業に対し、議会はどういう姿勢や見解を持って対応しているかの報告会にしてほしい。

議 会 今後に向け、皆さんと密着した意見交換の場となるよう努力します。

報告会運営の改善を

町 民 民意の反映には若い方、特に母親の意見も聞けるような時間帯や場所の工夫をしてほしい。

議 会 年齢層等いろいろな方々からご意見がいただけるように改善していきます。

議会をわかりやすく

町 民 この報告では議会の内容がよくわからない。議会と自治会の関係もよくわからない。
議 会 短時間の報告では、なかなか理解できないと思いますが、議員1人での活動は難しくとも、議員全体で方向を決め、政策立案などを行う中で、進めています。
自治会と議会の関係は、地域性もあるので地域で工夫してください。

< その他 >

観光の町として

町 民 ダムができて、アユがいなくなった。アユの時期になっても釣り人は誰もいない。これで観光立町と言えるのか。

議 会 今年、2市3町の議会で酒匂川水系整備について議論し、黒岩知事に要望書を出しました。行政と一体となって取り組んでいます。

施設の利活用

町 民 清水の小・中学校が閉校となると、地域の中心的施設がなくなり、地域にいろいろな問題が起こってくる。議会と町が両輪となって、施設の再利用を検討してほしい。

議 会 議会も町と全員協議会で協議しています。

交通対策は

町 民 ぐるりんタクシー運用を議会として後押ししてほしい。

議 会 今年度中の本格運行に向け、準備をしていますので、前向きに取り組んでいきます。

医療費削減の動き

町 民 高齢者が増え、医療費は今後どうなるのか。

議 会 前回、国民健康保険料を15%値上げしましたが、町へは医療費を減らす対策を度々提言しています。

< 議員提案 >

猿対策の条例

町 民 観光客が餌付けするようで、同じ所に猿が出没する。条例を作り、看板を設置したらどうか。

議 会 議会提案で条例を作ることはできます。他県の市町の条例を参考に、効果等を検証した中で、常任委員会で検討していきます。